

なめがわ 議会だより

第 114 号

発行
滑川町議会
平成26年8月1日
責任者
議長 金井塚徳一
編集
議会広報発行対策特別委員会
比企郡滑川町福田750-1
TEL 0493(56)2211
FAX 0493(56)5522



子ども議会で真剣に取り組む児童生徒のみなさん（町制施行30周年事業で）

◎6月定例会

- 平成26年度大雪災害対策に追加補正される 2・3 P
- 消費税増税後の対策は 11P
臨時福祉給付金又は臨時特例給付金を支給
- 松島町・滑川町相互交流宣言締結される 14P
- 子ども議会開かれる 14P

災害に関する補助事業

平成26年度
6月議会
6月3日～6月6日



平成26年6月定例会は、「国民健康保険税の課税限度額や軽自動車税の引き上げの条例改正」、「大雪災害に関する補助事業」、「環境美化推進委員廃止による報酬廃止について」、「松島町・滑川町相互交流宣言について」など8議案を審議し、すべて可決しました。
請願審査1件は採択としました。
なお一般質問には7人の議員が、当面する諸問題について、町の施策や考えを質しました。

定例会 会期日程

6月3日

- 諸般の報告
- 行政報告

- 全議案の一括上程・説明

- 請願 1件

- 一般質問 (3名)

6月4日

- 一般質問 (4名)

6月5日

- 全員協議会

- 請願審査 (常任委員会)

6月6日

- 議案審議

議案審議Q&A

Q

畜産経営再建対策事業補助金が全額補助対象となっているが、どの様な内容ですか。

A

当町内では養鶏場一経営体が対象となります。内容としては、養鶏場の消毒用薬剤、栄養剤の購入費補助及び飼料購入費の補助に充当されます。
なお、被災施設の再建に掛かる補助は、埼玉県畜産経営再建対策事業実施要領により充当されます。

Q

新規就農自立支援事業委託料として388万4千円が計上され、滑川町の研修生の受け入れは、現在一人と答弁されているが具体的な研修内容をお聞きます。

A

研修生の受け入れ先は、合同会社埼玉元気ファーム研修場所(カインズ北側の農園)です。
主な研修内容は、●農業に関する基礎知識 ●就農経営計画樹立 ●農業実践研修等です。

一般会計

4億2,254万円を追加補正

- 生産販売農家のビニールハウス
撤去・再建 (16経営体)
- 農作物の種苗・肥料の助成
(3経営体)
- 畜産経営への補助 (1経営体)

平成26年度経営体育成条件整備事業
(被災者支援型)

片付け一国 $\frac{5}{10}$ 、県 $\frac{2.5}{10}$ 、町 $\frac{2.5}{10}$ (上限あり)

再 建一国 $\frac{5}{10}$ 、県 $\frac{2}{10}$ 、町 $\frac{2}{10}$ 、自己 $\frac{1}{10}$

請願

手話言語法制定を求める意見書

提出者 比企聴覚障害者の会

会長 西澤登志雄

紹介議員 上野 憲子

請願要旨

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的として「手話言語法(仮称)」を制定すること。

採択

Q 農業の6次産業化推進事業委託料として1175万5千円が計上されているが具体的な用途はどのようなものですか。

A 6次産業とは、1次産業は農業・水産業、2次産業は食品製造・加工、3次産業は流通販売に対して総合的に取組む形態です。滑川町での推進事業の内容は、
● 農業体験交流施設(谷津の里・伊古の里)管理者を対象とした情報発信と広報支援
● 農産物直売所の運営勉強会の開催 ● 農産物出荷者を対象とした販売促進研修会 ● 加工品製造者の新商品開発研修会 ● 直売所の販売促進研

修会等に使用します。

Q 六軒ゲートボール場の移設工事について、どのような理由でどこに移設されるか。

A 六軒ゲートボール場は、六軒地区で土地を借用し、町で設置した施設ですが、地主の都合により返してほしいとのことで、使用できなくなりました。
六軒地区から高齢者の活動の場を提供することや健康増進に寄与すること等、ゲートボール場の移設要望があり、月の輪五丁目の「げんき公園」の一角に移設することになりました。

1 井上奈保子……………P5

- 健康づくりの推進を
- 教育委員会制度改革について

2 上野 廣……………P6

- 平和と原発問題を考える
- 農業の6次産業化の推進を
- ふるさと納税の活用を

3 大山 尚美……………P7

- 森林公園南口に新たな駐輪場を
- 認知症予防と早期発見は
- 災害時備蓄品について

4 石川 正明……………P8

- 複合施設建設可能性

5 高坂 清二……………P9

- 児童の尊い命を守る為に
- 宮小体育館前の転落防止対策は

6 森田 泰雄……………P10

- 健康づくり行動宣言関連
- 5本目の柱は
- 元気会（裏郷地区）
- 乳ガン検診

7 上野 憲子……………P11

- 消費税増税後の町民の暮らしは
- 大雪被害後の復興状況は

町政と問う

一般質問

6月定例会では、7人の議員から※一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は5ページから11ページです。なお、全文記録（議事録）については、9月中に滑川町ホームページ（<http://www.town.namegawa.lg.jp>）に掲載しますのでご覧ください。

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。

各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

健診後に地域に於て事後説明会を

今後、実施を考えて行きたい



井上 奈保子 議員

健康づくりの推進を

問 今年4月、健康診査に関する基準になる新たな基準数値が人間ドック学会や他の学会等から示された。

答 これに対し国・県などから何らかの示唆・説明は出されたのか。

問 これについては、今すぐに変更することは考えていないため、厚生労働省・県からも文章等の通知も出ていない。

問 町としてはどのように考えているのか。

答 国・県と同様に従来の基準とする。

問 近く町民健診が実施される。新規準について町として何か説明を行う考えは。

答 広報、その他を通じてお知らせが出来ればと考えている。又、緩和された新規準に対しては、その数値を参考に、かかりつけ医等に相談し自分に合った健康管理をお願いしたい。

問 受診者への事後指導は電話や書類等でだけでなく、職員が各地域へ出向いての説明会など必要と思われるが。

答 今後、地域に出て行って健診についても説明会をして行きたい。

問 所沢市や他市町でも、今利用が増えているジェネリック医薬品の使用を促すために、国保加入世帯へイメージキャラクター等を利用した「希望カード」を配布しその効果を上げているそう。町でもこれの取り入れをどのように広めているのか。

答 他市町と同様、滑川町も保険者証更新時や転入者、他の保険者証からの切替え時に保険者証と一緒に「希望カード」を配布している。

問 町におけるジェネリック医薬品の利用と効果はどうなのか。

答 代替可能医薬品に占めるジェネリック医薬品利用率の推移は、平成24年3月～25年2月迄は、平均25・39%。25年3月から26年2月までは、平均42・77%となっている。大幅に増加し、医療費削減の効果が出ている。

教育委員会制度改革について

問 今、国会審議中の改革法案において、首長主宰の「総合教育会議」という機関が設置され、首長と教育委員会とが重点教育施策を協議するものとされている。内容によっては首長の教育に関する関与が強まるのではないかと懸念がされている。見解をうかがいたい。

答 今、学校や教育委員会等に対して様々な問題発生時の対応にきびしい指摘がある。この様なことから教育委員会廃止論や改革が必要だとの声が出て来た。文科省の関連の各委員会等で紆余曲折の中であるが、あくまでも教育の中立性・安定性を確保しつつ首長との連携を持ちながら教育行政を保って行く、としていることと認識している。まだ、どのようになるかわからないが町としては、国・県の動向を見ながらきちんと対応して行きたいと考えている。



▶ 健診風景





上野 廣 議員

農業の6次産業の推進を

地域人づくり事業などを活用し強化

平和と原発問題を考える

問 滑川町は、平和を5本柱の一つとして、平和の祭典、ピースバスツアーなど毎年行い、平和首長会議にも加盟している。

一方、3年前に起こった福島第一原発事故は、いまだ収束しておらず、除染も遅れており、福島県の平和を大きく乱している。そんな中で、茨城県東海村の原発が、再稼働

の可能性が出てきている。約100キロ圏内に滑川町は入る。そのような状況の中で、以下のことをうかがいたい。

①今年の「平和を考える集い」の内容とスケジュールは。
②展示等に、将来、滑川町民の平和を乱す可能性のある原発の問題、集団的自衛権の行使などを含める考えは。

答 今年も昨年同様、「平和を見つめるピースバスツアー」、「戦争と平和を考え

るパネル展示」を8月に予定している。詳細は、7月広報に掲載する。

現在政府が推進しようとしている原発再稼働や集団的自衛権の問題は見逃ごせない問題ではあるが、協議中であり、パネル展示は考えていない。

農業の6次産業化の推進を

問 農業の6次産業化とは、一次産業である農業が農

林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むことで、農業の所得向上や雇用創出につなげることをいう。

本年3月議会で、「地域人づくり事業の推進」について、一般質問を行った。そのときの答弁で、産業振興課としては、「6次産業化というのであるなら、応募可能か」と答弁いただいた。

2次募集の状況と、滑川町としての「6次産業化の状況と今後の戦略」についてうかがいたい。

答 10分の10補助の「地域人づくり事業」の2次募集を行ったところ、「新規就農自立支援事業」、「農業の6

次産業化推進事業」の二つの事業が、埼玉県から採択の内示を受けている。なお、6次産業化関連では、「都市農村共生対流総合政策交付金」ということで、昨年に引き続き、「武州こころ柿復活」も内示を受けている。このような国・県からの支援を受け、農業の6次産業化を強化していく。

ふるさと納税の活用を

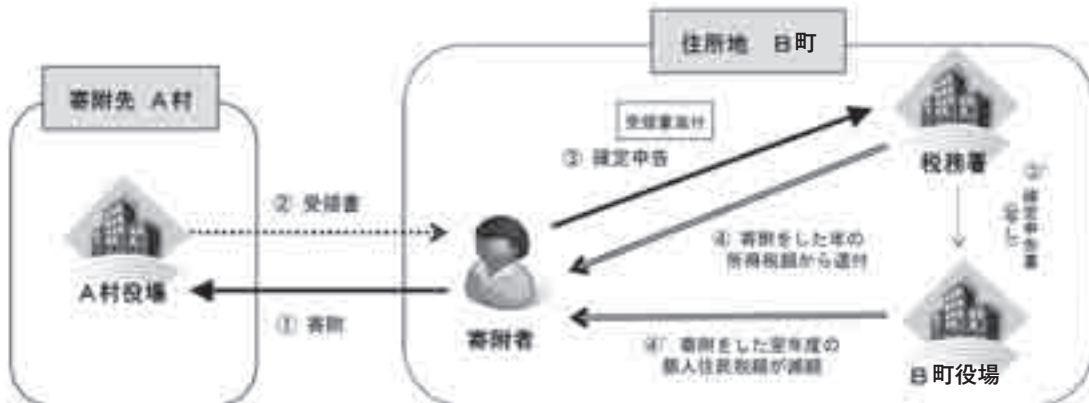
問 2008年に、国の指

導により創設された制度で、特徴としては、「特産品がもらえる」、「うまれ故郷でなくてよい」、「税金控除」、「使道指定可」、「複数の自治体可」などがある。この制度をうまく活用すれば、「地域のPR、産業振興、自主財源の創出」につなげる事ができる。滑川町の「ふるさと納税」の現状と今後についてうかがいたい。

答 平成24年に条例などを制定し、実施している。現在2名の方から、毎年納税していただいている。今後、2千円相当の滑川産のお米や広報送付を計画している。

町内在住の方も「ふるさと納税」できるので、HPの充実や特産品など工夫していきたい。

ふるさと納税の仕組み



森林公園駅南口に新たな駐輪場を

東武鉄道に要求する



大山 尚美 議員

問 森林公園駅南口の現在の駐輪場は高架下のみである。今の場所のマイナスイメージとして薄暗い、夜は怖い、駅から遠い等があげられる。また、駅の側のコンビニ敷地内に自転車を勝手にとめて、放置してある。

防犯の為に目があり、見通しが良く、照明があり、防犯カメラが設置され、整理されている駐輪場が必要である。新設の考えは。

答 駅に隣接する土地はほとんどが東武鉄道の所有地で、有料駐車場等に利用されている。今のところ町では、新たに駐輪場を設置する計画はない。

問 駅近くのコンビニや交番裏に止めてある自転車に対する対策は。



勝手に止められている自転車（交番裏）

答 森林公園駅北口に隣接する東武鉄道（株）の所有地内にも無断で止めている自転車等が多く東武も苦慮している。北口交番の裏側に駐輪場設置の打診が町にあった。

問 町は、出来るだけ近くに駐輪したいという人達を大切に、駅の近くに安全な駐輪場を設置するという認識をもって、東武に駐輪場

設置推進の要望をする事はできるか。

答 強く要望していく。

要望 滑川町は人口が増えている。2040年には約2万人の人口になると予想されている。今のうちに駅利用住民へのしつかりとした対策を東武に要望していく必要がある。

あると思う。

認知症予防と早期発見

問 急激な高齢化に伴い認知症の人が増加するといわれている。町が行っている認知症予防とその効果、早期発見の現状は。

答 元気高齢者向けの一次、二次予防教室を各6回行っている。予防につながっていると思われる。

問 軽度認知障害のスクリーニングテストの導入を。（90%以上の発見効果）費用が多額になるため取り入れの考えはない。

答 費用が多額になるため取り入れの考えはない。

災害時備蓄品について

問 大災害が発生した場合、避難所が「仮設診療所」になると予想される。町指定避難所に備蓄してある医療救護用品は。

答 ベッド、担架、毛布、マスク、救急箱などを備えている。

問 災害時対応として医師や医療機関との連携は。

答 検討中である。



石川 正明 議員

複合施設の建設可能性は

29年度完成を目指す

「生涯学習施設としての拠点機能を優先する」「将来福祉的な利用もはかれるようにする」「ホールの収容人数は500人規模とする」と報告をした。

問 どのような施設を複合化し、どのような機能を融合させるのか具体的にはわかりづらい。図書館機能は、生涯学習の拠点施設に欠かさないと考えるが。

答 平成22年度に行った、それぞれの施設利用者アンケートでも、コミュニティセンターと図書館を融合させるといふ回答が、群を抜いて多かった。

問 仮に図書館と生涯学習施設を融合させ、子育て支援や包括支援などの福祉関連の機能を持たせた上で、500人収容規模のホールも合わせると、多額な事業費になる。また建設場所についても慎重に検討する必要があると考えるが。

答 町では27年度設計、29年度完成という計画を立て、26年度9月補正で「複合公共施設民間活力導入可能性調査業務」委託費を議会にはかりたい。また年内に、一般の町民にも参加してもらう検

討委員会を設置し、施設内容や建設場所などを慎重に検討していく。

要望 補助事業が見当たらないという中で、

大型公共施設建設事業のスタートが補正でというのはいかなものか。完成後最低でも30年は使用する施設です。拙速に事を進めることの無いようお願いしたい。

問 滑川町では、中央公民館（コミュニティセンター）の老朽化が進み、改築が望まれているところである。そこで議会総務経済建設常任委員会では、平成25年度の所管事務調査の重点事項として、各種機能を融合させた複合的な先進施設を視察し、これからの公共施設の在り方について検討をしてきた。町のコミュニティセンターの改築に関する取組や経過につい

答 てうかがう。町では、コミュニティセンターに替わる施設は、どんなのが良いか平成22年度にコミュニティセンター、図書館、エコミュージアム、保健センターそれぞれ施設利用者にアンケートを行った。その後平成24年度に職員による検討委員会を設置して、近隣の施設を調査、平成22年度に行った利用者アンケートの検討を加え、町長に



町の公共施設であるコミュニティセンター、町立図書館



高坂 清二 議員

ため池の安全対策について 町の姿勢は

現地にあった対策を講じたい

児童の尊い命を守る為に

問

滑川町には200以上のため池があり、この数は埼玉県の市町村では最も多く、埼玉県全体の1/4に相当する。これは古来より灌漑用に作られたものであり、現在も使用されている。

南部地域では人口の増加に伴い、幼稚園・小学生の児童が増加しており、休日には釣りを楽しんでいる子ども達も見られる。ため池の安全対策について町の考えは。

答

ため池は注意が必要なので町、地域のボランティアの皆さん、学校関係、PTAの皆さんの見守り活動のご協力をいただき安全対策に努めている。

問

安全施設や注意表示の対応は、どの課か。

答

要望があった場合、課局どこでも速やかに対応していく。構造物が必要な場合は、協議対応する。

宮小体育館前の転落防止対策は

問

町道122号線は宮前小学校側に道路拡幅されている。積ブロックは敷地の高さまで積み、児童の安全が確保されている。反対側は当時のままであり、南側から一般駐車場を利用する際、階段の一部が壊れ、さらに歩行時の転落防止柵がなく安全対策が必要では。



安全対策が望まれるため池

答

学校の施設整備は、子ども達の「安全、安心」を第一に考え対策を講じている。現状に合った安全対策を検討し、調査する。



安全対策が望まれる南側駐車場



森田 泰雄 議員

町長の五本目の柱は

健康づくりの充実の 宣言

健康づくり行動宣言関連

自分の健康は自分でつくるを基本に、少子高齢化が進む中医療費を抑え町民全体が健康で長寿の町を合言葉に健康づくり宣言が発せられ、2年が経過した。以下に質問する。

問 健康づくり行動宣言以降の特記事項をうかがう。

答 後期高齢者医療費が平成23年度に比べ、平成24年度大幅に下り県下一の下げ幅となった。

五本目の柱

問 「五本目の柱」として町長方針の宣言をされた

が、宣言の理由についてうかがう。

問 滑川町の医療費のワースト五位くらいまでお聞きしたい。

答 第1位、総合失調症。2位、高血圧症。3位、悪性ガン等。4位、糖尿病。5位、腎不全となっている。

答 平成26年度より「健康づくり行動」を宣言発し、一概に改善できないが町民全員の参加が出来る方法でウォーキング等から取り組み健康づくりの充実を計りたい。

元気会（裏郷地区）

問 裏郷地区における元気会の活動状況

活動内容は、指導者による健康体操・グリーンウォーキング・マレットゴルフ・輪投げ大会・料理教室・県外における天然温泉利用等である。ウォーキング時に道路沿いのクリーン化及び道路の草取りを実施した場合の助成がうけられる制度があると聞くが詳細の説明を。

答 健康づくり事業補助金交付要綱に基づいて交付している。

- ① ウォーキング健康体操・カラオケ・ピンポンなど会員一人当たり千円の補助
- ② 福祉に関する、一人暮らし家庭の見守り・買い物の手伝いなど
- ③ 空き缶ひろいや清掃片付けなど会員一人500円
- ④ 道路の路肩の草刈で、歩道の草取りも含め、1㎡当り

40円。ただし町の決めた場所とする。

乳ガン検診

各種健康診断により早期発見早期治療の徹底を目標としている。

問 婦人検診で、乳ガン検診を自営業等の場合2日間の検診日を設けてほしいとの声があるが、連続2日間の

検診が出来ない理由を聞きたい。

答 乳腺は女性ホルモンの影響を受けるものなので、乳がん検診を受ける時期は、できれば生理開始日から前後一週間は避けたほうが望ましいとされている。そのため連続2日間の検診を避けて一週間程度の間隔をおいて日程を設定している。



裏郷元気会 体操

消費税増税後の対策は

一回限りの給付金の支給



上野 憲子 議員

消費税増税後の町民の暮らしは

問 4月1日から消費税の8%が実施となった。

しかし、消費税増税によって大きな被害をうける低所得者への対策は極めて限定されたものとなっているが。

答 「臨時福祉給付金」又は「子育て世帯臨時特例給付金」が一回限りで支給になる。6月議会において、補正予算を計上している。

問 住民税非課税世帯に1人1万円を支給し、そのうち基礎年金の受給者などに5千円を加算する「臨時福祉給付金」や、児童手当の支給対象者に対象児1人あたり1万円の子育て世帯に対する「臨時特例給付金」が支給されるが、町の支給に対する方法は。

答 対象者全員に6月中旬に申請書を送付する予定で、申請期間は6月23日（月）から11月28日（金）までとし、最初の支給は、7月上旬を予定している。

問 今後、70歳から74歳の医療費窓口負担が1割から2割へ、生活保護の生活扶助費が昨年8月に続いて削減され、年金も昨年10月に続き引き下げられたが、町民の暮らしはどのようになっていくか。

答 中小企業の給料もいまだUPしていない状況で、生活について節約の状況にあるのではないかと考えている。消費や景気も落ち込むので、住民生活に大きな影響があると考ええる。

大雪被害後の復興状況は

問 2月に降った記録的な大雪は、県北部を中心に甚大な被害をもたらした。この大雪の被害による町内における復興状況は。

答 公共施設関係はほとんど終了したが、旧福田農協倉庫の屋根のふきかえは補正予算で対応する。一般家庭もほぼ済んでいるように思われる。



買いもの風景

問 国と自治体が再建費を補助する「経営体育成条件整備事業」の県内要望額が当初見込みの約121億円から約329億円に増大したとの県のまとめが報道された。額が増えたのは、再建しやすいうような「同じ施設を建てるために必要な費用」と、耐用年

数にとらわれない補助内容に拡充されたためとあるが、町内の状況は。

答 国が事業費の5割、県と市町村が2割を助成、標準パターンで9割補助となったので、町でも課題はあるが再建へ向けた取り組みは進んでいる。

総務経済建設常任委員会 (所管事務調査報告)

平成26年度、総務経済建設常任委員会では、各種公共施設の利用状況や運営管理状況を調査し、受益者負担の原則や人口動向に見合った公共施設の在り方、配置を検討します。

さる6月11日に、公園を含む町の施設を一日かけて視察しました。管理運営については概ね良好といたいところですが、中には全く利用者がいないだろうという公園や、立派な施設にもかかわらず受益者負担の原則が守られていない施設など、問題点が多くありました。

滑川町の主な施設が、昭和51年に東松山工業団地が分譲開始されたのに伴い「工業再配置促進法」による補助事業で建設整備されたものも多く当然老朽化も進み雨漏りはもちろん、総合体育館のように所要の耐震性能を有していない施設すらあります。

今後、複合施設の建設が具体的になる中で、既存施設の有効利用や連携も検討しながら、「公共施設マネジメント白書」の作成とまではいかないまでも、公共施設の在り方について指針を示していきます。



都第2公園



みなみ野公共施設用地



文化スポーツセンター



町立図書館内

文教厚生常任委員会 (所管事務調査報告)

本委員会は、昨年に引き続き、「子供に優しく、健康長寿の町づくり」をめざして、活動してまいります。具体的には、教育、福祉、環境に関する各所轄からの提議案審議、住民からの陳情、請願の審査を基本とし、所轄の決議案件、国・県などへの意見書提出についても、積極的に発議してまいります。

平成26年6月19日、障害者施設の実情と取り組みについて、町内障害者施設を視察しました。

滑川町・近隣市町村障害者のための施設一覧

- ① 居宅介護・重度訪問介護
- ② 同行援護
- ③ 行動援護
- ④ 短期入所
- ⑤ 重度障害者等包括支援
- ⑥ 生活介護
- ⑦ 就労移行支援
- ⑧ 就労継続支援
- ⑨ 施設入所支援
- ⑩ 自立訓練
- ⑪ 共同生活援助
- ⑫ 児童通所支援

今回は右表にある⑥の生活介護1ヶ所、NPO法人オルオル「たけのこ」⑧の就労継続支援(B型)2ヶ所、社会福祉法人青い鳥福祉会「よるべ」、NPO法人「トゥッティフォルテ」の3ヶ所を視察しました。

「たけのこ」は滑川町でも最も古く、心身に障がいを持つ子供の親たちが集まり立ちあげました。学校卒業後の子供たちに、働く場、生活の場を提供したいとの親の切なる思いで、畑を借り、作った野菜を滑川まつりや農業祭で販

売して資金を集めるという大変な苦勞の中で運営されてきた経緯があります。

現在はNPOとして法人設立、20名定員。男性5名、女性15名、18〜72歳の方が利用しています。ビーズ手芸、アルミ缶回収、ゴミ拾いを仕事とし、様々な楽しいレクリエーションもあります。今は、町の元たなご館を借りて運営していますが、将来は独立施設を持ちたいという夢を持っています。

「よるべ」は、主に精神障害者小規模作業所としてスタートし、現在は障害者多機能型支援事業所として活動し

ています。定員22名で20〜70歳代の方が利用しています。焼き菓子作りが主な作業。よるべの独特な取り組みとしては、利用者当事者がサポーターとして、病院などへ向き、活動しています。

「トゥッティフォルテ」は、トゥッティ(合奏)フォルテ(得意な事)という意味で、皆で楽しく得意な事を伸ばしていこう!の思いで名付けたそうです。メインの創作活動は、アンティーク着物を裂いて、裂き織りやソーイング等でバッグや小物入れを作っています。個人が自らの資産を投じて設立し、大変な苦勞を

して経営しています。今後、町としての継続的な支援の必要性を感じました。



NPO法人「トゥッティフォルテ」



NPO 法人オルオル「たけのこ」



社会福祉法人青い鳥福祉会「よるべ」

7月19日に子ども議会開かれる

議場において、次代をになう小・中学生の児童生徒に、議会制民主主義の理解や、滑川町のまちづくりに関心を深めてもらう目的として開かれました。



滑川町・松島町相互交流宣言調印式記念式典

日時 平成26年7月14日
場所 ホテル松島大観荘



滑川町から寄贈した
ターナちゃんとどんぐり松ちゃん



行政懇談会へ議員参加

去る5月2日に、役場にて町執行部と各地区区長、補助員、議員が参加した行政懇談会が開催されました。

町から平成26年度の主な事業（重点事業）について各課より事業内容の説明が細部にわたってありました。出席者から内容についての質問が出、行事等については町民がわかりやすいように一覧表などを用いて広報してほしい等、要望・意見も含めた話し合いが由来しました。

今後の議員活動や行政運営にとつて有意義な会でした。



編集後記

鬱陶しい梅雨も明け、厳しい暑さが続いています。みなさんご健勝にてお過ごしのことと思います。

6月定例議会が、6月3日より4日間の会期で行われました。本議会では、今年2月の大雪災害に関する補助事業などで、4億を超える増額補正になりました。養鶏場やビニールハウスの一日も早い再建をお祈りいたします。

また、今年も節電の夏です。滑川町にも、2つのメガソーラーが建設されようとしています。エネルギーの地産地消めざして、再生可能エネルギーを推進し、原発を動かさない社会を作りたいです。

次回、9月26日(金)開会予定の定例会は、平成25年度の決算議会です。是非、傍聴においでください。

上野 廣